

あさひ小学校で 森林学習(森林整備)

朝日庄内森林生態系保全センターでは、毎年7月上旬に、あさひ小学校(鶴岡市)5年生の児童たちと一緒に、大鳥池登山(令和4年度は、吊り橋が壊れて通行出来ない為、六十里越越街道で実施)や森林整備などの森林学習体験を行っています。

今回は、あさひ小学校にて、屋内での事前学習を行った後の現地で森林学習(森林整備)を行いました。



蜂の誘因捕殺剤についての説明

作業の前に、森林整備の必要性と作業手順及び安全対策について説明を受けました。

当日は、暑い中前日の六十里越街道登山の疲れも感じさせない元気さで作業開始です。



森林整備作業中



輪伐り作業中

スギの伐採作業は、一人では伐れないため疲れたら仲間と交代しながら作業を行いました。

伐採したスギの木は、玉切りを行ったのち、輪伐りにして持ち帰る児童もいました。

児童たちも実際の作業を通じて、座学だけでは学べない森林の大切さについて理解を深めた様子でした。